

四万十町を担当します！ 新任の地域支援企画員です よろしくお願ひします

四月の県の人事異動で四万十町に駐在しています地域支援企画員に異動があり、窪川地区は夕部茂地域支援企画員が、大正地区は浦宗真由美地域支援企画員が、十和地区は川田建康地域支援企画員が新たに担当することになりました。駐在先は、本庁（企画課）、大正総合支所（地域振興課）、十和総合支所（地域振興課）となっています。

地域支援企画員の役割は、地域を支えて元気にしていく、そんな活動をされている個人やグループの方々の役場や関係機関などと連携して支援することです。自主防災に関することや、地場産品の開発、農家民宿の開発、NPOの設立などジャンルを問わずいろいろなご相談をお受けします。地域で見かけましたら気軽に声をかけください。



夕部 茂さん



浦宗真由美さん

「これまで旧十和村、旧大正町を担当してきました。これから窪川地域のことを勉強していきます。いろいろなお話をお聞かせください。」



川田建康さん

「技術（土木）出身ですので、事務的なことは不慣れな部分があるかもしれませんが、地域の皆さんの声にできるかぎり応えていきたいと思っています。」

「前職は保健師でした。地域を明るく元気にしたいと頑張っている皆さんのお手伝いが少しでもできればと思っています。」



春の交通安全運動

交通安全はみんなの願いです。特に春は小学校や保育園・幼稚園などへの新入学児童・園児が通学通園を始めます。車の運転や自転車の運転などに際しては、私たち一人ひとりが交通ルールを遵守し、子どもたちや高齢者を交通事故から守るを主眼に、警察署、役場、交通関係諸団体が協力して「春の全国交通安全運動（四月六日～十五日）」を実施しました。運動期間中、旧町村単位でそれぞれ街頭キャンペーンが行われましたので紹介します。



安全運転を呼び掛けてジュースやパンフレットを配布(影野)

◎街頭キャンペーン

【窪川地区】

四月六日、影野の国道五十六

号線沿いで、窪川警察署、交通安全協会窪川支部、交通安全指導員、交通安全母の会など約三十人が参加し、また、特別参加として高知県交通安全協会長がパレードに参画。ジュース（母の会から提供）、トイレットペーパー（交通安全協会窪川支部から提供）や交通安全啓発パンフレットでドライバーに交通安全の啓発活動を行いました。

【大正地区】

四月十二日、下岡の国道三百八十一号線沿いで、窪川警察署、交通安全協会窪川支部、交通安全指導員、交通安全母の会・北幡自動車整備組合など約三十人が参加し、ジュース（北幡自動車整備組合から提供）、トイレットペーパー（交通安全協会窪川支部から提供）や交通安全啓発パンフレットでドライバーに交通安全の啓発活動を行いました。

【十和地区】

四月十二日、十和トンネル東口の国道三百八十一号線沿いで、窪川警察署、交通安全協会窪川支部、交通安全指導員、交通安全母の会など十四人が参加し、トイレットペーパー（交通安全協会窪川支部から提供）や交通安全啓発パンフレット、反射材をドライバーに配布し交通安全の啓発活動を行いました。